

令和5年度学校評価(児童評価)

【実施】 前期評価:令和5年6月末～7月上旬 後期評価:令和5年11月末～12月上旬

【方法】 アンケート方式による。質問ごとに「そう思う」「大体そう思う」「あまりそう思わない」「思わない」の4段階からの選択。

【評価点】 「そう思う」100点、「大体そう思う」75点、「あまりそう思わない」25点「思わない」0点として得点化。50点が中間点。

【考察】

学校だより「伊吹っ子だより」第11号(令和6年1月25日発行)に掲載したものを一部修正、加筆しています。

★★★

右の表にありますとおり、2学期に評価をぐんと上げた項目が多く、6割の項目で90%以上の評価となっています。項目17「行事に進んで参加」に伸びが見られるように、2学期は運動会や伊吹フェスティバルといった大きな行事を中心に、子どもたちが意欲を持って活動することで、自信を高めている様子をうかがうことができます。

加えて、1学期に比べて3ポイント以上アップした項目が8項目もあったことはうれしい限りです。特に、項目10「家庭コミュニケーション(家の人に自分のことや学校であったことなどを話している)」がぐんと伸びた点は、保護者の皆様のご協力があったのではないかと感じています。また、コロナ5類移行後も、項目18「健康的な生活ができた」が伸びていることで、ある意味生活習慣として定着しているように考えることができます。

そして私たち教職員としては、項目2「授業がよくわかる」の伸びがたいへんうれしいです。この評価を糧として、さらに楽しくわかりやすい授業実践ができるよう、これからも日々研鑽を深めていく所存です。

3ポイント以上ダウンしたのは項目5の「英語学習」についてです。学習が進んでいくにつれて、特に高学年には「書き(writing)」が入ってくる関係もあって、英語学習に対する苦手意識が出てきた子どもがいるように考えます。中学校との接続という観点から必要なことではありますが、英語学習が「楽しい」ものであるという意識を持ち続けられるよう、今後もALTとの連携の中で、学習内容等を工夫していくことで、「英語に親しむ伊吹っ子」を育ててきたいと思えます。

それぞれの項目について評価の結果を精査し、次年度以降の教育活動の改善につないでいけるように活かしていきます。

R5 児童振り返り(前期後期の比較)

質問項目		R5 後期評価点	R5 前期評価点
1	学校が楽しい	91.5	90.0
2	授業よくわかる	86.8	83.2
3	家も学校もよく本を読む	58.8	61.1
4	家庭学習	90.8	87.9
5	英語学習楽しい	86.8	90.0
6	しっかり話を聞く	94.1	90.7
7	ICT 学習頑張った	90.1	87.1
8	授業後振り返り	89.3	86.4
9	地域へのあいさつ	91.9	92.5
10	家庭コミュニケーション	87.1	81.4
11	友だち関係	94.2	92.9
12	交流活動は楽しい	93.0	94.6
13	掃除時間いっぱい	89.0	90.7
14	道徳での交流	89.0	86.1
15	あたたかい言葉遣い	86.0	86.8
16	難しいこともあきらめない	90.8	86.4
17	行事に進んで参加	93.0	88.2
18	健康的な生活ができた	89.7	83.2
19	伊吹小の行事自慢できる	90.4	91.1
20	先生はほめてくれる	92.6	90.4
21	先生は話をきいてくれる	95.2	93.6
22	登下校の安全	94.1	94.3

前期と比較し、3ポイント以上アップ

前期と比較し、3ポイント以上ダウン